ボランティア活動とは

ボランティア活動は、だれもが“暮らしやすい社会”を目指した自発的な活動です。
さまざまな分野があり、たくさんの活動があります。
特別な技術がなくても、普段の生活の中で興味があることから活動に取り組んでみましょう。

自発性・自主性

自身が主体的に考え、自らの意志のもとに実践にあたりましょう。

無報酬性

むくわれることを期待したり収入を得るための活動ではありません。

継続性

計画的に継続性をもって活動しましょう。

社会性

個人や団体の利益のためではなく、社会のために行う公共性のある活動です。

開発性

ニーズにあわせて、新しく開拓していくことも忘れずに。

≪お問い合わせ窓口≫　小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターにご相談ください。
小牧市小牧五丁目 407 番地　電話 77-0636　FAX75-2666　E-Mail:shakyo@k-net.or.jp　小牧市社協　検索

ボランティア活動
知っておきたい心がまえ 10 か条

1 自分に合った身の回りのことから手がけましょう

私たちの身の回りには、身近な問題が顔を出しています。ボランティア活動は、まずあいさつや高齢者、身体の不自由な人に席をゆずることから始めましょう。

2 相手のニーズ（求めていること）に合わせて活動しましょう

自分勝手な計画を立てたり、善意の名をかりて押しつけることはやめ、相手の立場に立ってものごとを考え行動しましょう。

3 無理のない計画をたてましょう

自分やグループの力量にあわせて無理のない計画をたて、細く長く自分の生活リズム組み入れた活動にしましょう。

4 約束を守りましょう

ボランティア活動は人と人の信頼によって成り立つものです。活動の場での約束は必ず守り責任ある行動をとりましょう。

5 秘密は守りましょう

ボランティア活動を通して、いろいろな人の悩みや問題の相談を受けることも多くあります。しかし、個人のプライバシーに関することは決して他言しないことです。秘密を守ることは、活動における信頼関係を深めることに不可欠です。

6 たえず学習し、自分を成長させましょう

ボランティア活動を続けていると、いろいろな問題にぶつかります。活動の反省をし、評価を行い次の活動がより効果的に行われるように備えることが望まれます。そのためには、学習をしていかなくてはいけません。

7 宗教や政治活動とは区別しましょう

宗教的な信条や正義感からボランティア活動を志す人もありますが、自分の信仰している宗教や、支持している政党などをボランティア活動の中で、相手に勧めたり強要してはいけません。信仰の自由、思想・信条の自由をお互いに守り、尊重しましょう。ボランティア活動は、人権尊重そのものであるという重い意味をかみしめましょう。

8 謙虚さも大切にしましょう

善意というものは、押しつけになればかえってマイナスです。決して、“してあげる”という発想ではなく、協力者であり援助者であるという立場でたえず尋ねる姿勢、学ぶ姿勢が必要です。

9 周りの理解と協力を得ておきましょう

家族の理解と協力を得ておきましょう。また、職場、学校などで理解と関心を持ってもらうことが、ボランティアの輪を広げることにもつながります。

10 安全対策に充分配慮しましょう

万一の事故に備えて安心して活動できるように活動場所の点検をしたり、事故が起こった場合などの対応を学習することも必要です。